

大学番号：031

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

電気通信大学 情報理工学域 I類（情報系）

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 電気通信大学

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	係長 <small>ハンドウ</small> 飯銅 <small>ジュンジ</small> 純二
電話番号	042-443-5050
（夜間）	042-443-5050
F A X	042-443-5010
e-mail	kchosa-k@office.uec.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

目次

情報理工学域

< I 類 (情報系) >	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

(2) 大学名

電気通信大学

(3) 大学の位置

〒182-8585

東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 「該当なし」

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
情報理工学域 I類 (情報系) 学士 (工学)	4年	210人	3年次 9人	858人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	690 (-) [-]								1.05倍	一般入試 (前期日程) では学域全体の大括り入試を採用しており, 1年次は類別の状況を集計することができないため, I類, II類, III類をまとめ上げた状況を記載している。
志願者数	3986 (-) (-) [65] [-]									
受験者数	3007 (-) (-) [44] [-]									
合格者数	780 (-) (-) [13] [-]									
B 入学者数	729 (-) (-) [16] [-]									
入学定員超過率 B/A	1.05									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について **外数** で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (()) 書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[16] (-) 729	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	一般入試（前期日程）では学域全体の大括り入試を採用しており、1年次は類別の状況を集計することができないため、Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類をまとめ上げた状況を記載している。
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[16] (-) 729	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	729 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	729 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学者数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

※一般入試(前期日程)では学域全体の大括り入試を採用しており、1年次は類別の状況を集計することができないため、I類、II類、III類をまとめて上げた状況を記載している。

2 授業科目の概要

<情報理工学域 I 類 (情報系)>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合文化科目	人文・社会科学科目	哲学A	2・3前	2		1						
		哲学B	2・3後	2		1						
		倫理学A	2・3前	2		1						
		倫理学B	2・3後	2		1						
		心理学A	2・3前	2				1				
		心理学B	2・3後	2				1				
		歴史学A	2・3前	2								兼1
		歴史学B	2・3後	2								兼1
		科学史A	2・3前	2					1			
		科学史B	2・3後	2					1			
		文学A	2・3前	2			1					
		文学B	2・3後	2			1					
		美術A	2・3前	2								兼1
		美術B	2・3後	2								兼1
		音楽A	2・3前	2								兼1
		音楽B	2・3後	2								兼1
		経済学A	2・3前	2								兼1
		経済学B	2・3後	2								兼1
		社会学A	2・3前	2								兼1
		社会学B	2・3後	2								兼1
		法学A	2・3前	2								兼1
		法学B	2・3後	2								兼1
		政治学A	2・3前	2				1				
		政治学B	2・3後	2				1				
		地理学A	2・3前	2								兼1
		地理学B	2・3後	2								兼1
		社会思想史A	2・3前	2								兼1
		社会思想史B	2・3後	2								兼1
		文化人類学A	2・3前	2								兼1
文化人類学B	2・3後	2								兼1		
技術史	2・3前	2					1					
総合文化科目	言語文化基礎科目 I	Academic Written English I	1前	1			3	3				兼7
		Academic Spoken English I	1前	1			2	4				兼6
		Academic Written English II	1後	1			3	3				兼7
		Academic Spoken English II	1後	1			2	4				兼6
	言語文化応用科目 I	Academic English for the Second Year I	2前	1			2	1				兼7
		Academic English for the Second Year II	2後	1			2	1				兼7
	言語文化基礎科目 II	独語第一	1・2前		1							兼4
		独語第二	1・2後		1							兼4
		仏語第一	1・2前		1							兼1
		仏語第二	1・2後		1							兼1
		露語第一	1・2前		1			1				兼1
		露語第二	1・2後		1			1				兼1
中国語第一		1・2前		1							兼4	
中国語第二		1・2後		1							兼4	
韓国朝鮮語第一	1・2前		1							兼2 兼4 教育内容充実のため、兼任教員2名で対応。(28)		
韓国朝鮮語第二	1・2後		1							兼2 兼4 教育内容充実のため、兼任教員2名で対応。(28)		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
言語文化科目 言語文化応用科目Ⅱ 言語文化科目 言語文化演習科目	選択独語第一	1~4前		1			1					兼2
	選択独語第二	1~4後		1			1					兼2
	選択仏語第一	1~4前		1								兼1
	選択仏語第二	1~4後		1								兼1
	選択露語第一	1~4前		1			1					
	選択露語第二	1~4後		1			1					
	選択中国語第一	1~4前		1			1					兼2
	選択中国語第二	1~4後		1			1					兼2
	選択韓国朝鮮語第一	1~4前		1								兼1
	選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1								兼1
	英語演習	2前・後		2			4	4				
	独語演習	2前		2				1				兼1
	独語運用演習	2後		2				1				兼1
	仏語演習	2前		2								兼1
	仏語運用演習	2後		2								兼1
	露語演習	2前		2			1					
	露語運用演習	2後		2			1					
	中国語演習	2前		2			1					兼2
	中国語運用演習	2後		2			1					兼2
韓国朝鮮語演習	2前		2								兼1	
韓国朝鮮語運用演習	2後		2								兼1	
日本語演習	2後		2								兼1	
日本語 日本語・日本文化科目	日本語第一	1前	2			2						兼1
	日本語第二	1後	2			2						
	日本語第三	2前	2			1						兼2
	日本文化A	1前	2									兼1
	日本文化B	1後	2									兼1
日本文化C	2前	2									兼1	
日本文化D	2後	2									兼1	
日本文化E	2前	2					1					
健康・スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1・2通	1			2 +	3					兼8
	健康論	1・2後	1			3 2	3 4					兼8
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前	1			1	3					兼9
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後	1			2						兼9
	生涯スポーツ演習C	2・3・4前	1			1	2					兼2
	生涯スポーツ演習D	2・3・4後	1			2	3					兼5
理工系教養科目	宇宙・地球科学	1・2後		2		1						
	物理学概論第三	2・3前		2		1						
	UECパスポートセミナー	1後		2		1				1		
	生物学	1・2・3後		2			2					
	化学とエネルギー	2・3前		2		1						
	材料化学	1・2後		2		1						
	現代数学入門A	2・3前		2			1					
	現代数学入門B	2・3前		2			1					
A類 上級科目 文化と社会	エートス論	3・4前		2		1						
	倫理思想論	3・4後		2		1						
	数学の哲学	3・4前		2		1						
	科学的実在論の可能性	3・4前		2		1						
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1						
	人間と外交	3・4前		2		1						
	日本の内政と外交	3・4前		2		1						
	現代の世界政治	3・4後		2		1						
	文章表現トレーニング	3・4前		2		1						
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1						
	近代小説の人間学	3・4後		2		1						
	心の科学	3・4後		2			1					
	認知科学	3・4後		2			1					
	江戸の社会と数学	3・4前		2			1					
	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2			1					
	現代の教育	3・4前		2		1						
	教育と憲法（日本国憲法）	3・4前		2		1						兼1
	教育の歴史	3・4後		2		1						
	人間と教育	3・4後		2		1						
	科学技術と人間	3・4前		2		1						兼3
環境論	3・4後		2		1						兼6	
認識の諸相	3・4後		2		3						兼3	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合文化科目	B 類 言語 による コミュニ ケーシ ョン	Reading Scientific Research	3・4前	2		1						
		Research Writing	3・4後	2		1						
		Research Presentation	3・4前	2		1						
		Advanced Reading in Academic English	3・4後	2			1					
		English for Interpersonal Communication	3・4後	2		1						
		English for Intercultural Communication	3・4前	2		1						
		Preparation for Overseas Study	3・4前	2		1						
		Preparation for Graduate School	3・4後	2		1						
		外国語とその運用A【独語】	3・4前	2								兼1
		外国語とその運用A【仏語】	3・4前	2								兼1
		外国語とその運用A【露語】	3・4前	2			1					
		外国語とその運用A【中国語】	3・4前	2			1					
		外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前	2								兼1
		外国語とその運用B【独語】	3・4後	2								兼1
	外国語とその運用B【仏語】	3・4後	2								兼1	
	外国語とその運用B【露語】	3・4後	2			1						
	外国語とその運用B【中国語】	3・4後	2			1						
	外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後	2								兼1	
	C 類 異文化 の理 解	比較文化論	3・4前	2			1					
		地域文化論	3・4後	2		1						
		文化干渉論	3・4前	2		1						
		国際文化論	3・4後	2								兼1
		文化と言語	3・4後	2			1					
		外国語との対比による日本語表現	3・4前	2								兼1
		日本語とコミュニケーションA	3・4前	2			2					
	日本語とコミュニケーションB	3・4後	2				1					
	D 類 現代 の科 学	現代物理学を創った人々	3・4前	2		2	3					
		サイエンス・コミュニケーション演習	3前	2		1			1			
		物理学の発展と最前線	3・4後	2		2	3					
		応用代数学	3・4後	2		2	1					
		現代化学	3・4後	2		6	7		1			
		情報と職業	3・4前	2		2						兼1
		日本の科学と技術A	3・4前	2		2	1		1			
	日本の科学と技術B	3・4後	2		2	2						
E 類 健康 とス ポー ツの 科学	身体運動のバイオメカニクス	3・4前	2		2	1						
	運動と筋の科学	3・4前	2		2	1						
	健康の科学	3・4後	2				1					
	エイジングの健康科学	3・4前	2				1					
	スポーツとコミュニケーション	3・4後	2				1					
	体力の科学	3・4後	2				1					
	日常生活の対人関係	3・4前	2			1						
現代社会と対人関係	3・4後	2			1							
国際 科目	Reading Scientific Research	3・4前	2		1							
	Research Presentation	3・4前	2		1							
	Preparation for Graduate School	3・4後	2		1							
	English for Interpersonal Communication	3・4後	2		1							
	Research Writing	3・4後	2		1							
	Preparation for Overseas Study	3・4前	2		1							
	Advanced Reading in Academic English	3・4後	2			1						
	English for Intercultural Communication	3・4前	2		1							
	UEC Academic Skills I (Computer Literacy)	1～4前・後	2				1					
	UEC Academic Skills II (Information Literacy and Research)	2～4前・後	2				1					
	UEC Academic Skills III (Publishing Literacy and Research)	3・4前・後	2				1					
Introduction to Computational Methods in Science and Engineering	3・4前	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
実践教育科目	初年次導入科目	総合コミュニケーション科学	1前	2			1	1 2				兼9 より教育内容に即した担当者に変更。(28) 専任教授の負担軽減のため、専任教授は6名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28) 兼8 兼3 教育内容充実のため、兼任教員は8名で対応。(28) より教育内容に即した担当者に変更。(28)	
		基礎科学実験A	1前・後	2			6 7	9		11			
		基礎科学実験B	1前・後	2			4	2			2		
		コンピュータリテラシー	1前	2			4 5	2 3	1		5 3		
	倫理・キャリア教育科目	キャリア教育基礎	1前		2		0 1	2				兼1 兼8 科目の位置付け、講義内容をより反映した科目名に変更。(28) 兼7 科目の位置付け、講義内容をより反映した科目名に変更。(28)	
		キャリア教育リーダー	3前		2		1	2					
		キャリアデザイン	2後		2		1	2					
		イノベティブ総合コミュニケーションデザイン1 エンジニアリングデザイン1	3前		2		2						
		イノベティブ総合コミュニケーションデザイン2 エンジニアリングデザイン2	3後		2		2						
		インターンシップ	3前		2		2	5	1				
		インターンシップ(海外)	3前		2		2	5	1				
		ベンチャービジネス概論	3・4前		2		2						
技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前		2			1				兼8		
	Technical English - Intermediate English for Science	3後		2			1				兼8		
専門科目	理数基礎科目	微分積分学第一	1前	2			2	4				兼3	
		微分積分学第二	1後	2			1	4 6				兼2 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授は4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)	
		線形代数学第一	1前	2			1	2				兼3 兼4 兼任教員の負担軽減のため、兼任教員は3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)	
		線形代数学第二	1後	2			1	2				兼4	
		解析学	1後	2			4 2	2 2				兼2 より教育内容に即した担当者に変更。(28)	
		数学演習第一	1前	1				3				兼4	
		数学演習第二	1後	1			1	2 2				兼4 より教育内容に即した担当者に変更。(28)	
		物理学概論第一	1前	2			5 6	7 6				より教育内容に即した担当者に変更。(28)	
		物理学概論第二	1後	2			6	6					
		化学概論第一	1前	2			4 6	4				兼2 専任教授の負担軽減のため、専任教授は4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)	
		化学概論第二	1後	2				1					
		物理学演習第一	1前	1		1	2	3					
		物理学演習第二	1後	1		1	2	3					
		基礎プログラミングおよび演習	1後	2			5	4			3		
		類共通基礎科目	離散数学	1後	2			1	2				兼1 専任助教の負担軽減のため、専任助教8名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)
			確率論	2前	2				1	1			
計算機通論	2前		2			1	2						
論理設計学	2前		2			2	1						
プログラミング通論	2前		2			1	1						
情報領域演習第一	1後		1						8 17				
情報領域演習第二	2前		1						17				
情報領域演習第三	2後		1				2		17				
アルゴリズム論第一	2後		2			2	2						
電気・電子回路	2前		2		2	1	1						
複素関数論	2前		2		2		1						
統計学	2後		2		2	1		1		1			
オペレーションズ・リサーチ基礎	2後		2		2	1	1						
応用数学第一	2後		2		2	1	1						
コンピュータネットワーク	2後	2		2	1	1							
コンピュータ設計論	2後	2		2	2								

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
① メディア 情報学 プログラム 類 専門 科目	メディア情報学プログラミング演習	2後	1			2						
	プログラミング言語実験	3前	2			2				2		
	メディア情報学実験	3後	2			4	3			2		
	輪講A	4前	1			14	10			8		
	輪講B	4後	1			14	10			8		
	卒業研究A	4前	3			14	10			8		
	卒業研究B	4後	3			14	10			8		
	社会情報論	2後		2			1					
	形式言語理論	2後		2		2						
	オペレーティングシステム論	3前		2			1					
	幾何学概論	3前		2		1						
	情報通信システム	3前		2		1						
	人間工学	3前		2		1	1					
	インタラクティブシステム	3前		2			1					
	コミュニケーション論	3前		2			2					
	メディア分析法	3前		2		1						
	メディアリテラシー	3前		2			1					
	ソフトウェア工学	3後		2		1			1			
	進化計算論	3後		2		1						
	ユビキタスネットワーク	3後		2		3	1					
	言語認知工学	3後		2		1						
	物体認識論	3後		2		1						
	ビジュアル情報処理	3前		2			1					
	メディア論	3後		2		1						
	音響信号処理	3後		2		1						
	情報工学工房	1～4通		2		2	2			3	4	
	マルチメディア処理	3前			2							
基礎数学演習第一	1前		1		1	1						
基礎数学演習第二	1後		1			2						
基礎物理学演習第一	1前		1			1	2	1				
基礎物理学演習第二	1後		1			2		1				
情報処理演習第一	2前		2					1				
情報処理演習第二	2後		2					1				
② 経営・ 社会 情報学 プログラム 類 専門 科目	プログラミング言語実験	3前	2			2				2		
	経営・社会情報学実験	3後	2			1	1	2	3			
	輪講A	4前	1			9	4	2	4			
	輪講B	4後	1			9	4	2	4			
	卒業研究A	4前	3			9	4	2	4			
	卒業研究B	4後	3			9	4	2	4			
	社会情報論	2後		2			1					
	生産管理	2後		2			1					
	品質管理第一	2後		2		2		2	1			
	品質管理第二	3後		2					1			
	オペレーティングシステム論	3前		2			1					
	幾何学概論	3前		2		1						
	情報通信システム	3前		2		1						
	人間工学	3前		2		1	1					
	コミュニケーション論	3前		2			2					
	ソーシャルコンピューティング	3前		2		1						
	多変量解析	3前		2		1						
	オペレーションズ・リサーチ第一	3前		2		1						
オペレーションズ・リサーチ第二	3後		2			1						
ソフトウェア工学	3後		2		1			1				
言語認知工学	3後		2		1							

専任教員等の配置

専任准教授及び専任助教の負担軽減のため、専任准教授は2名、専任助教は3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)

兼1 教職関係の教育を充実・強化するため、自由科目を追加。(28)

より教育内容に即した担当者に変更。(28)

専任准教授の負担軽減のため、専任准教授は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
② 経営・社会情報学プログラム 類専門科目	マーケティング科学	3後		2								兼1 専任准教授及び専任助教の負担軽減のため、専任准教授は2名、専任助教は3名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(28) 兼1 教職関係の教育を充実・強化するため、自由科目を追加。(28) より教育内容に即した担当者に変更。(28) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)
	信頼性工学	3後		2		1			1			
	金融工学	3後		2		1						
	情報工学工房	1~4通		2		2	2 3		3 4			
	マルチメディア処理	3前			2							
	基礎数学演習第一	1前		1		1	1 2					
	基礎数学演習第二	1後		1			2					
	基礎物理学演習第一	1前		1			1 2	1				
	基礎物理学演習第二	1後		1			2	1				
	情報処理演習第一	2前		2					1			
情報処理演習第二	2後		2					1				
専門科目 ③ 情報理工学プログラム 類専門科目	数値計算	2後		2		2					兼2	
	オペレーティングシステム論	3前		2			1			5		
	情報数理工学実験第一	3前		4		1	1			5		
	情報数理工学実験第二A	3後		2		3	3					
	情報数理工学実験第二B	3後		2		3	2		1			
	輪講A	4前		1		8	8			5		
	輪講B	4後		1		8	8			5		
	卒業研究A	4前		3		8	8			5		
	卒業研究B	4後		3		8	8			5		
	形式言語理論	2後			2	2						
	幾何学概論	3前			2	1						
	数値解析	3前			2	1						
	アルゴリズム論第二	3前			2	1						
	言語処理系論	3前			2	1						
	ヒューマンインタフェース	3前			2						兼1	
	プログラム言語論	3前			2	1						
	データベース論	3前			2	1						
	応用数学第二	3前			2	1						
	グラフとネットワーク	3前			2		1					
	ソフトウェア工学	3後			2	1			1			
	シミュレーション理工学	3後			2	1	1					
	ハイパフォーマンスコンピューティング	3後			2	1						
	ゲーム情報学	3後			2		1					
	数理計画法	3後			2	1						
	離散数理工学	3後			2		1					
	計算理論	3後			2		2					
	コンピュータグラフィックス	3後			2	1						
	知的情報処理	3後			2	1						
	情報工学工房	1~4通			2	2	2 3		3 4			
マルチメディア処理	3前				2							
基礎数学演習第一	1前			1	1	1 2						
基礎数学演習第二	1後			1		2						
基礎物理学演習第一	1前			1		1 2	1					
基礎物理学演習第二	1後			1		2	1					
情報処理演習第一	2前			2				1				
情報処理演習第二	2後			2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
④ コンピュータサイエンス 専門科目 類 専門科目	数値計算	2後	2			2					兼2
	オペレーティングシステム論	3前	2				1				
	コンピュータサイエンス実験第一	3前	4			1	1		5		
	コンピュータサイエンス実験第二A	3後	2			4	2				
	コンピュータサイエンス実験第二B	3後	2			4	2				
	輪講A	4前	1			11	7		8		
	輪講B	4後	1			11	7		8		
	卒業研究A	4前	3			11	7		8		
	卒業研究B	4後	3			11	7		8		
	形式言語理論	2後		2		2					
	幾何学概論	3前		2		1					
	数値解析	3前		2		1					
	アルゴリズム論第二	3前		2		1					
	言語処理系論	3前		2		1					
	ヒューマンインタフェース	3前		2							
	プログラム言語論	3前		2		1					
	データベース論	3前		2		1					
	応用数学第二	3前		2		1					
	グラフとネットワーク	3前		2			1				
	ソフトウェア工学	3後		2		1		1			
	シミュレーション理工学	3後		2		1	1				
	ハイパフォーマンスコンピューティング	3後		2		1					
	ゲーム情報学	3後		2			1				
	数値計画法	3後		2		1					
	離散数理工学	3後		2			1				
	計算理論	3後		2			2				
	コンピュータグラフィックス	3後		2		1					
	知的情報処理	3後		2		1					
情報工学工房	1～4通		2		2	2 3		3 4			
マルチメディア処理	3前			2						兼1	
基礎数学演習第一	1前		1		1	1 2				より教育内容に即した担当者に変更。(28)	
基礎数学演習第二	1後		1			2					
基礎物理学演習第一	1前		1			1 2	1			専任教員の負担軽減のため、専任教員は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)	
基礎物理学演習第二	1後		1			2	1				
情報処理演習第一	2前		2				1				
情報処理演習第二	2後		2				1				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 68	科目 278	科目 0	科目 346	科目 68 [0]	科目 278 [0]	科目 4 [4]	科目 350 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費 「該当なし」

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成28年4月 専任教授1名を新規 採用のため(28)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 -15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]				点
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	電気通信大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
情報理工学域									
I類(情報系)	4	210	3年次9	858	学士(工学)	1.05	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	一般入試(前期日程)では学域全体の大括り入試を採用しており、入学定員超過率は類別の状況を集計することができないため、I類、II類、III類をまとめ上げた状況を記載している。
II類(融合系)	4	245	3年次10	1000	学士(工学)	1.05	平成28年度	同上	
III類(理工系)	4	235	3年次10	960	学士(工学)	1.05	平成28年度	同上	
先端工学基礎課程(夜間主)	4	30	3年次3	126	学士(工学)	1.03	平成28年度	同上	
情報理工学部									
総合情報学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	平成28年学生募集停止
情報・通信工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先端工学基礎課程(夜間主)	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報理工学研究科(博士前期課程)									
情報学専攻	2	110	-	220	修士(工学)(理学)(学術)	1.25	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	
情報・ネットワーク工学専攻	2	150	-	300	修士(工学)(理学)(学術)	1.14	平成28年度	同上	
機械知能システム学専攻	2	105	-	210	修士(工学)(理学)(学術)	0.98	平成28年度	同上	
基盤理工学専攻	2	135	-	270	修士(工学)(理学)(学術)	0.83	平成28年度	同上	
総合情報学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報・通信工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止

情報理工学研究科 (博士後期課程)												
情報学専攻	3	13	-	39	博士 (工学)(理学) (学術)	0.84	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号				
情報・ネットワーク工学専攻	3	18	-	54	博士 (工学)(理学) (学術)	0.61	平成28年度	同上				
機械知能システム学専攻	3	12	-	36	博士 (工学)(理学) (学術)	0.41	平成28年度	同上				
基盤理工学専攻	3	16	-	48	博士 (工学)(理学) (学術)	0.62	平成28年度	同上				
総合情報学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報・通信工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
知能機械工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
先進理工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム学研究科 (博士前期課程)												
情報メディアシステム学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号				平成28年学生募集停止
社会知能情報専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報ネットワークシステム学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム基盤学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム学研究科 (博士後期課程)												
情報メディアシステム学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号				平成28年学生募集停止
社会知能情報専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報ネットワークシステム学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム基盤学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

・ AC対象学部等についても必ず記入してください。

・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<情報理工学域 I 類 (情報系)>

(1) 担当教員表 「該当なし」

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)										平成26年3月 〇〇〇教授辞任のため 平成26年度より担当者の 変更 (26) 平成26年11月 AC教員審査済 (27)
専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成25年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆◆ (〇〇)	平成26年4月	国際経済学	
					兼任	講師	◇◇◇◇ (〇〇)	平成26年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成26年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成26年4月	商 法						……………のため、就任が遅延 (26)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成28年10月	金 融 論			後任未定			平成27年10月 □□□□准教授就任辞退 (28) 「後任未定」平成28年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成28年4月	〇〇〇〇論	平成28年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加 (28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号 (その2の1) に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合 (「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。) は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書 (AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - ・ なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 () 書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
33	26	2	27	88	41	36	2	26	105	41	36	2	26	105
(41)	(36)	(2)	(26)	(105)						[8]	[10]	[0]	[Δ1]	[17]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (26)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (27)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (26)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (27)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 「該当なし」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等 「該当なし」

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<△△学部 □□学科>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む) 「該当なし」

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項 「該当なし」

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書 a 公表（予定）時期 記入例 ・平成28年5月1日 公表 b 公表方法 記入例 ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定）
③ 認証評価を受ける計画 記入例 ・平成28年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書
a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成28年 6月 30日)

大学番号：031

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

電気通信大学 情報理工学域 II類（融合系）

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 電気通信大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	係長 <small>ハンドウ</small> 飯銅 <small>ジュンジ</small> 純二
電話番号	042-443-5050
（夜間）	042-443-5050
F A X	042-443-5010
e-mail	kchosa-k@office.uec.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

目次

情報理工学域

＜Ⅱ類（融合系）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

(2) 大学名

電気通信大学

(3) 大学の位置

〒182-8585

東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 「該当なし」

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
情報理工学域 Ⅱ類 (融合系) 学士 (工学)	4年	245人	3年次 10人	1000人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	690 (-) [-]								1.05倍	一般入試 (前期日程) では学域全体の大括り入試を採用しており, 1年次は類別の状況を集計することができないため, I類, II類, III類をまとめ上げた状況を記載している。
志願者数	3986 (-) (-) [65] [-]									
受験者数	3007 (-) (-) [44] [-]									
合格者数	780 (-) (-) [13] [-]									
B 入学者数	729 (-) (-) [16] [-]									
入学定員超過率 B/A	1.05									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[16] (-) 729	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	一般入試（前期日程）では学域全体の大括り入試を採用しており、1年次は類別の状況を集計することができないため、Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類をまとめ上げた状況を記載している。	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		[] ()
4年次					/		[] ()	[] ()		[] ()
計			[16] (-) 729	[] ()			[] ()	[] ()		[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	729 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	729 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学者数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

※一般入試(前期日程)では学域全体の大括り入試を採用しており、1年次は類別の状況を集計することができないため、I類、II類、III類をまとめて上げた状況を記載している。

2 授業科目の概要

<情報理工学域 II類（融合系）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
総合文化科目	人文・社会科学科目	哲学A	2・3前	2		1							
		哲学B	2・3後	2		1							
		倫理学A	2・3前	2		1							
		倫理学B	2・3後	2		1							
		心理学A	2・3前	2			1						
		心理学B	2・3後	2			1						
		歴史学A	2・3前	2							兼1		
		歴史学B	2・3後	2							兼1		
		科学史A	2・3前	2				1					
		科学史B	2・3後	2				1					
		文学A	2・3前	2			1						
		文学B	2・3後	2			1						
		美術A	2・3前	2							兼1		
		美術B	2・3後	2							兼1		
		音楽A	2・3前	2							兼1		
		音楽B	2・3後	2							兼1		
		経済学A	2・3前	2							兼1		
		経済学B	2・3後	2							兼1		
		社会学A	2・3前	2							兼1		
		社会学B	2・3後	2							兼1		
		法学A	2・3前	2							兼1		
		法学B	2・3後	2							兼1		
		政治学A	2・3前	2			1						
		政治学B	2・3後	2			1						
		地理学A	2・3前	2							兼1		
		地理学B	2・3後	2							兼1		
社会思想史A	2・3前	2							兼1				
社会思想史B	2・3後	2							兼1				
文化人類学A	2・3前	2							兼1				
文化人類学B	2・3後	2							兼1				
技術史	2・3前	2				1							
総合文化科目	言語文化科目	言語文化基礎科目 I	Academic Written English I	1前	1		3	3				兼7	
			Academic Spoken English I	1前	1		2	4				兼6	
			Academic Written English II	1後	1		3	3				兼7	
			Academic Spoken English II	1後	1		2	4				兼6	
		言語文化応用科目 I	Academic English for the Second Year I	2前	1		2	1					兼7
			Academic English for the Second Year II	2後	1		2	1					兼7
総合文化科目	言語文化基礎科目 II	独語第一	1・2前	1								兼4	
		独語第二	1・2後	1								兼4	
		仏語第一	1・2前	1								兼1	
		仏語第二	1・2後	1								兼1	
		露語第一	1・2前	1		1						兼1	
		露語第二	1・2後	1		1						兼1	
		中国語第一	1・2前	1								兼4	
		中国語第二	1・2後	1								兼4	
		韓国朝鮮語第一	1・2前	1								兼2 兼1	
		韓国朝鮮語第二	1・2後	1								兼2 兼1	

教育内容充実のため、兼任教員2名で対応。(28)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
言語文化科目 言語文化応用科目Ⅱ	選択独語第一	1~4前		1			1				兼2	
	選択独語第二	1~4後		1			1				兼2	
	選択仏語第一	1~4前		1							兼1	
	選択仏語第二	1~4後		1							兼1	
	選択露語第一	1~4前		1		1						
	選択露語第二	1~4後		1		1						
	選択中国語第一	1~4前		1		1					兼2	
	選択中国語第二	1~4後		1		1					兼2	
	選択韓国朝鮮語第一	1~4前		1							兼1	
	選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1							兼1	
	言語文化科目 言語文化演習科目	英語演習	2前・後		2		4	4				
		独語演習	2前		2			1				兼1
		独語運用演習	2後		2			1				兼1
		仏語演習	2前		2							兼1
		仏語運用演習	2後		2							兼1
		露語演習	2前		2		1					
		露語運用演習	2後		2		1					
		中国語演習	2前		2		1					兼2
		中国語運用演習	2後		2		1					兼2
		韓国朝鮮語演習	2前		2							兼1
韓国朝鮮語運用演習	2後		2							兼1		
日本語演習	2後		2							兼1		
日本語・ 日本文化科目	日本語第一	1前	2			2					兼1	
	日本語第二	1後	2			2						
	日本語第三	2前	2			1					兼2	
	日本文化A	1前		2							兼1	
	日本文化B	1後		2							兼1	
日本文化C	2前		2							兼1		
日本文化D	2後		2							兼1		
日本文化E	2前		2				1					
健康・ スポーツ 科学科目	健康・体力づくり実習	1・2通	1			2 ↓	3				兼8	
	健康論	1・2後	1			3 ↓	3 4				兼8	
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前		1		1	3				兼9	
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後		1		2					兼9	
	生涯スポーツ演習C	2・3・4前		1		1	2				兼2	
生涯スポーツ演習D	2・3・4後		1		2	3				兼5		
理工系 教養科目	宇宙・地球科学	1・2後		2		1						
	物理学概論第三	2・3前		2		1						
	UEC/パスポートセミナー	1後		2		1			1			
	生物学	1・2・3後		2		2		2				
	化学とエネルギー	2・3前		2		1						
	材料化学	1・2後		2		1						
	現代数学入門A	2・3前		2				1				
現代数学入門B	2・3前		2				1					
上級科目 A類 文化と社会	エートス論	3・4前		2		1						
	倫理想論	3・4後		2		1						
	数学の哲学	3・4前		2		1						
	科学的实在論の可能性	3・4前		2		1						
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1						
	人間と外交	3・4前		2		1						
	日本の内政と外交	3・4前		2		1						
	現代の世界政治	3・4後		2		1						
	文章表現トレーニング	3・4前		2		1						
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1						
	近代小説の人間学	3・4後		2		1						
	心の科学	3・4後		2				1				
	認知科学	3・4後		2				1				
	江戸の社会と数学	3・4前		2				1				
	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2				1				
現代の教育	3・4前		2				1			兼1		
教育と憲法（日本国憲法）	3・4前		2				1					
教育の歴史	3・4後		2				1					
人間と教育	3・4後		2				1					
科学技術と人間	3・4前		2				1			兼3		
環境論	3・4後		2				1			兼6		
認識の諸相	3・4後		2				3			兼3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合文化科目	B類 言語によるコミュニケーション	Reading Scientific Research	3・4前	2		1					
		Research Writing	3・4後	2		1					
		Research Presentation	3・4前	2		1					
		Advanced Reading in Academic English	3・4後	2			1				
		English for Interpersonal Communication	3・4後	2		1					
		English for Intercultural Communication	3・4前	2		1					
		Preparation for Overseas Study	3・4前	2		1					
		Preparation for Graduate School	3・4後	2		1					
		外国語とその運用A【独語】	3・4前	2							兼1
		外国語とその運用A【仏語】	3・4前	2							兼1
		外国語とその運用A【露語】	3・4前	2		1					
		外国語とその運用A【中国語】	3・4前	2		1					
		外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前	2							兼1
		外国語とその運用B【独語】	3・4後	2							兼1
		外国語とその運用B【仏語】	3・4後	2							兼1
	外国語とその運用B【露語】	3・4後	2		1						
	外国語とその運用B【中国語】	3・4後	2		1						
	外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後	2							兼1	
	C類 異文化の理解	比較文化論	3・4前	2			1				
		地域文化論	3・4後	2		1					
		文化干渉論	3・4前	2		1					
		国際文化論	3・4後	2							兼1
		文化と言語	3・4後	2			1				
		外国語との対比による日本語表現	3・4前	2							兼1
		日本語とコミュニケーションA	3・4前	2		2					
	日本語とコミュニケーションB	3・4後	2			1					
	D類 現代の科学	現代物理学を創った人々	3・4前	2		2	3				
		サイエンス・コミュニケーション演習	3前	2		1			1		
		物理学の発展と最前線	3・4後	2		2	3				
		応用代数学	3・4後	2			1				
		現代化学	3・4後	2		6	7		1		
		情報と職業	3・4前	2							兼1
		日本の科学と技術A	3・4前	2			1	1			
日本の科学と技術B	3・4後	2			2						
E類 健康とスポーツの科学	身体運動のバイオメカニクス	3・4前	2		1						
	運動と筋の科学	3・4前	2		1						
	健康の科学	3・4後	2			1					
	エイジングの健康科学	3・4前	2			1					
	スポーツとコミュニケーション	3・4後	2			1					
	体力の科学	3・4後	2			1					
	日常生活の対人関係	3・4前	2		1						
現代社会と対人関係	3・4後	2		1							
国際科目	Reading Scientific Research	3・4前	2		1						
	Research Presentation	3・4前	2		1						
	Preparation for Graduate School	3・4後	2		1						
	English for Interpersonal Communication	3・4後	2		1						
	Research Writing	3・4後	2		1						
	Preparation for Overseas Study	3・4前	2		1						
	Advanced Reading in Academic English	3・4後	2			1					
	English for Intercultural Communication	3・4前	2		1						
	UEC Academic Skills I (Computer Literacy)	1~4前・後	2			1					
	UEC Academic Skills II (Information Literacy and Research)	2~4前・後	2			1					
	UEC Academic Skills III (Publishing Literacy and Research)	3・4前・後	2			1					
Introduction to Computational Methods in Science and Engineering	3・4前	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
実践教育科目	初年次導入科目	総合コミュニケーション科学	1前	2			1	1				より教育内容に即した担当者に変更。(28)	
		基礎科学実験A	1前・後	2			6	9		11		専任教授の負担軽減のため、専任教授は6名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)	
		基礎科学実験B	1前・後	2			4	2		2		教育内容充実のため、兼任教員は8名で対応。(28)	
		コンピュータリテラシー	1前	2			4	2	1	5		より教育内容に即した担当者に変更。(28)	
	倫理・キャリア教育科目	キャリア教育基礎	1前		2		0	2				専任教授の負担軽減のため、専任准教授2名のみで対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)	
		キャリア教育リーダー	3前		2		1	2				兼1	
		キャリアデザイン	2後		2		1	2				兼8	
		イノベティブ総合コミュニケーションデザイン1 エンジニアリングデザイン1	3前		2		2					兼7 科目の位置付け、講義内容をより反映した科目名に変更。(28)	
		イノベティブ総合コミュニケーションデザイン2 エンジニアリングデザイン2	3後		2		2					兼7 科目の位置付け、講義内容をより反映した科目名に変更。(28)	
		インターンシップ	3前		2		2	5	1				
		インターンシップ(海外)	3前		2		2	5	1				
		ベンチャービジネス概論	3・4前		2		2						
		知的財産権	3・4後		2		2						兼1
技術者倫理	3・4後		2								兼1		
技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前		2			1					兼8	
	Technical English - Intermediate English for Science	3後		2			1					兼8	
専門科目	理数基礎科目	微積分学第一	1前			2	4					兼3	
		微積分学第二	1後			1	4					兼2 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授は4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)	
		線形代数学第一	1前			1	2					兼3 兼任教員の負担軽減のため、兼任教員は3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)	
		線形代数学第二	1後			1	2					兼4	
		解析学	1後			4	2					兼2 より教育内容に即した担当者に変更。(28)	
		数学演習第一	1前		1			3				兼4	
		数学演習第二	1後		1		1	2				兼4 より教育内容に即した担当者に変更。(28)	
		物理学概論第一	1前		2		5	7					より教育内容に即した担当者に変更。(28)
		物理学概論第二	1後		2		6	6					
		化学概論第一	1前		2		4	6					兼2 専任教授の負担軽減のため、専任教授は4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)
		化学概論第二	1後		2			1					
		物理学演習第一	1前		1		2	3					
		物理学演習第二	1後		1		2	3					
基礎プログラミングおよび演習	1後		2		5	4			3				
①セキュリティ情報学プログラム	類共通基礎科目	力学	1後			2	1						
		確率統計	1後			3	1						
		応用数学A	2前			1	2			1			
		数値解析およびプログラミング演習	2前			3	2						
		基礎電気回路	2前			2	3						
		基礎電磁気学	2前			2	3						
		基礎演習A	2前			1	4			1			
		アルゴリズムとデータ構造およびプログラミング演習	2後			3					2		
		離散数学	2前			2	1						
		複素関数論	2前			2							
		波動と光	2前			2							
応用数学B	2後			2				1					
力学演習	2前			2	1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
①セキュリティ情報学プログラム 専門科目	プログラミング言語実験	3前	2				1					兼1 兼1 教職関係の教育を充実・強化するため、自由科目を追加。(28) より教育内容に即した担当者に変更。(28) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)
	セキュリティ情報学実験	3後	2			3	1					
	輪講A	4前	1			5	8		4			
	輪講B	4後	1			5	8		4			
	卒業研究A	4前	3			5	8		4			
	卒業研究B	4後	3			5	8		4			
	数理統計	2後		2		1						
	計算機アーキテクチャー	2後		2		1						
	情報通信システム	3前		2			1					
	離散数学応用	3前		2			1					
	アルゴリズム論	3前		2			1					
	メディアネットワーク	3前		2		1						
	オペレーティングシステム	3前		2			1					
	コンピュータネットワーク	3前		2		1	1					
	ユビキタスネットワーク	3後		2		1						
	暗号理論	3後		2			1					
	ハードウェアセキュリティ	3後		2		1						
	ソフトウェアセキュリティ	3後		2			1					
	コンテンツセキュリティ	3後		2		1						
	ネットワークセキュリティ	3後		2			1					
	データベース論	3後		2		1	1					
デジタル信号処理	3後		2		1							
幾何学概論	3前			2	1							
マルチメディア処理	3前			2								
基礎数学演習第一	1前		1		1	1						
基礎数学演習第二	1後		1			2						
基礎物理学演習第一	1前		1			1	2	1				
基礎物理学演習第二	1後		1			2	1					
情報処理演習第一	2前		2				1					
情報処理演習第二	2後		2				1					
②情報通信工学プログラム 専門科目	力学	1後	2			2	1					
	確率統計	1後	2			3	1					
	数値解析およびプログラミング演習	2前	3			1	2					
	基礎電気回路	2前	2			1	3					
	基礎電磁気学	2前	2			3	1					
	基礎演習A	2前	1			4	6		1			
	基礎演習B	2後	1			1	2	1				
	応用数学A	2前	2			1	2		1			
	応用数学B	2後	2				1	1				
	アルゴリズムとデータ構造およびプログラミング演習	2後	3				1			2		
	離散数学	2前		2		1	1					
	複素関数論	2前		2			3					
	波動と光	2前		2			2					
	力学演習	2前			2	1	1					
	電磁気学第一	2後	2			1	1					
	電磁気学第二	3前	2			1	1					
	回路システム学第一	2後	2			1	1					
	回路システム学第二	3前	2			2						
	情報通信工学実験A	3前	3			1	3	1				
	情報通信工学実験B1	3後	2			1	8					
	情報通信工学実験B2	3後	1			1	8					
輪講A	4前	1			12	11	1	3				
輪講B	4後	1			12	11	1	3				
卒業研究A	4前	3			12	11	1	3				
卒業研究B	4後	3			12	11	1	3				
数理統計	2後		2		1					兼1		
計算機アーキテクチャー	2後		2		1							
論理回路学	2後		2			2						
基礎情報通信	2後		2		1							
基礎電子工学	2後		2		1					兼1		
信号処理論	3前		2		1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
② 情報通信工学プログラム 類専門科目	コンピュータネットワーク	3前		2		1	1				
	情報理論	3前		2		2					
	電子回路学	3後		2			2				
	量子力学	3前		2		1					
	通信システム学	3後		2		1					
	符号理論	3後		2			1				
	伝送回路論	3後		2		1					
	線形システム理論	3後		2				1			
	光通信工学	3後		2		1					
	電磁波工学	3後		2			1				
	計測工学	3後		2		1					
	集積回路学	4前		2			1				
	暗号化と符号化の数理	4前		2		1					
	画像処理工学	4前		2				1			
	宇宙通信工学	3~4通		2			2				
	通信法規	4後		2							兼1
	電子工学工房	1~4通		2			6			1	
	幾何学概論	3前			2	1					
	マルチメディア処理	3前			2						兼1
	基礎数学演習第一	1前		1		1	1	2			教職関係の教育を充実・強化するため、自由科目を追加。(28) より教育内容に即した担当者に変更。(28)
基礎数学演習第二	1後		1			2					
基礎物理学演習第一	1前		1			1	2	1		専任准教授の負担軽減のため、専任准教授は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)	
基礎物理学演習第二	1後		1			2		1			
情報処理演習第一	2前		2					1			
情報処理演習第二	2後		2					1			
③ 電子情報学プログラム 専門科目	力学	1後	2			2	1				
	確率統計	1後	2			3	1				
	数値解析およびプログラミング演習	2前	3			1	2				
	基礎電気回路	2前	2			1	3				
	基礎電磁気学	2前	2			3	1				
	基礎演習A	2前	1			4	6			1	
	基礎演習B	2後	1			1	2	1			
	応用数学A	2前	2			1	2			1	
	応用数学B	2後	2				1	1			
	アルゴリズムとデータ構造およびプログラミング演習	2後	3				1			2	
	離散数学	2前		2		1	1				
	複素関数論	2前		2			3				
	波動と光	2前		2			2				
	力学演習	2前			2	1	1				
③ 電子情報学プログラム 類専門科目	論理回路学	2後	2				2				
	回路システム学第一	2後	2			1	1				
	回路システム学第二	3前	2			2					
	電子回路学	3後	2				2				
	電子情報学実験A	3前	3			1	3	1			
	電子情報学実験B1	3後	2			1	8				
	電子情報学実験B2	3後	1			1	8				
	輪講A	4前	1			5	9			4	
	輪講B	4後	1			5	9			4	
	卒業研究A	4前	3			5	9			4	
	卒業研究B	4後	3			5	9			4	
	数理統計	2後		2		1					兼1
	計算機アーキテクチャー	2後		2		1					
	情報通信と符号化	2後		2		1					
	基礎電子工学	2後		2		1					兼1
	電磁気学第一	2後		2		1	1				
	電磁気学第二	3前		2		1	1				
信号処理論	3前		2		1	1					
情報理論	3前		2		2						
コンピュータネットワーク	3前		2		1	1					
量子力学	3前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
③ 電子情報学プログラム 専門科目	伝送回路論	3後		2		1						
	線形システム理論	3後		2				1				
	電磁波工学	3後		2			1					
	電子機器システム学	3後		2		1						
	計測工学	3後		2		1						
	集積回路学	4前		2			1					
	音響工学	4前		2			1					
	画像処理工学	4前		2				1				
	宇宙通信工学	3~4通		2			2					
	通信法規	4後		2								兼1
	電子工学工房	1~4通		2			6			1		
	幾何学概論	3前			2	1						兼1
	マルチメディア処理	3前			2							兼1
	基礎数学演習第一	1前		1		1	1/2					
	基礎数学演習第二	1後		1			2					
	基礎物理学演習第一	1前		1			1/2	1				専任教員の負担軽減のため、専任教員は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)
基礎物理学演習第二	1後		1			2	1					
情報処理演習第一	2前		2				1					
情報処理演習第二	2後		2				1					
④ 計測・制御システムプログラム 専門科目	力学	1後	2			2	1					
	確率統計	1後	2			3	1					
	基礎電気回路	2前	2			1	3					
	基礎電磁気学	2前	2			3	1					
	力学演習	2前	2			1	1					
	基礎演習A	2前	1			4	6			1		
	複素関数論	2前		2			3					
	数値解析およびプログラミング演習	2前		3		1	2					
	応用数学A	2前		2		1	2			1		
	応用数学B	2後		2		2	1		1			
	離散数学	2前		2		1	1					
	波動と光	2前		2			2					
	アルゴリズムとデータ構造およびプログラミング演習	2後			3		1				2	
	基礎演習B	2後			1	1	2	1				
	機械力学および演習	2後		3			2					
	材料力学および演習	2後		3			1	1				
	メカノデザイン	2後		2		1	1				2	
	基礎制御工学および演習	3前		3		2						
	メカトロニクス基礎実験A	3前		2		2	4					
	メカトロニクス基礎実験B	3後		2		2	4					
	マシンデザインA	3前		2				1	1			兼4
	マシンデザインB	3後		2				1	1			
	現代制御工学	3後		2				1				
	デジタル信号処理	3後		2		1						
輪講A	4前		1		5	6				7		
輪講B	4後		1		5	6				7		
卒業研究A	4前		3		5	6				7		
卒業研究B	4後		3		5	6				7		
計算機アーキテクチャー	2後			2		1						
計算機工学	2後			2							兼1	
プログラミング演習	2後			2			2					
計測工学	2後			2		1						
電気電子計測	3前			2		2						
加工学および演習	3前			3		1	1					
熱力学および演習	3前			3			1					
流体力学および演習	3後			3		1						
電子回路学	3後			2			2					
材料工学	3後			2			1					
メカトロニクス	3後			2		1	1					
数理統計	2後			2		1					兼1	
論理回路学	2後			2			2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
④計測・制御システムプログラム 専門科目	ロボットの機構と力学	3前		2		1						
	人間機械システム	3前		2			1					
	設計基礎工学	3前		2			1					
	機構要素設計	3前		2			1					
	知能ロボット工学	3後		2		1						
	生産システム工学	3後		2			1					
	生体システム工学	3後		2		1						
	自動車工学	4前		2								兼1
	航空宇宙工学	4前		2								兼2
	地学	1後			2							兼2
	地学実験	3前			2							兼1
	生物学概論	1後			2		1					
	生物学実験	3前			2	1	1					
	幾何学概論	3前			2	1						
	基礎数学演習第一	1前		1		1	$\frac{1}{2}$					より教育内容に即した担当者に変更。(28)
	基礎数学演習第二	1後		1			2					
	基礎物理学演習第一	1前		1			$\frac{1}{2}$	1				専任教員の負担軽減のため、専任教員は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)
基礎物理学演習第二	1後		1			2	1					
情報処理演習第一	2前		2					1				
情報処理演習第二	2後		2					1				
⑤先端ロボティクスプログラム 専門科目	力学	1後	2			2	1					
	確率統計	1後	2			3	1					
	基礎電気回路	2前	2			1	3					
	基礎電磁気学	2前	2			3	1					
	力学演習	2前	2			1	1					
	基礎演習A	2前	1			4	6		1			
	複素関数論	2前		2			3					
	数値解析およびプログラミング演習	2前		3		1	2					
	応用数学A	2前		2		1	2		1			
	応用数学B	2後		2			1	1		1		
	離散数学	2前		2		1	1					
	波動と光	2前		2			2					
	アルゴリズムとデータ構造およびプログラミング演習	2後			3		1			2		
	基礎演習B	2後			1	1	2	1				
	機械力学および演習	2後		3			2					
	材料力学および演習	2後		3			1	1				
	メカノデザイン	2後		2			1	1		2		
ロボットの機構と力学	3前		2			1						
人間機械システム	3前		2				1					
メカトロニクス基礎実験A	3前		2			2	4					
メカトロニクス基礎実験B	3後		2			2	4					
マシンデザインA	3前		2								兼4	
マシンデザインB	3後		2			1	1					
知能ロボット工学	3後		2			1						
輪講A	4前		1			7	3			3		
輪講B	4後		1			7	3			3		
卒業研究A	4前		3			7	3			3		
卒業研究B	4後		3			7	3			3		
計算機アーキテクチャー	2後			2		1						
計算機工学	2後			2							兼1	
プログラミング演習	2後			2			2					
基礎制御工学および演習	3前			3		2						
加工学および演習	3前			3		1	1					
熱力学および演習	3前			3			1					
流体力学および演習	3後			3		1						
電子回路学	3後			2			2					
材料工学	3後			2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
⑤先端ロボティクスプログラム 専門科目 類専門科目	メカトロニクス	3後		2		1	1				兼1	
	数理統計	2後		2		1						
	論理回路学	2後		2			2					
	計測工学	2後		2		1						
	設計基礎工学	3前		2			1					
	機構要素設計	3前		2			1					
	電気電子計測	3前		2		2						
	現代制御工学	3後		2			1					
	デジタル信号処理	3後		2		1						
	生産システム工学	3後		2			1					
	生体システム工学	3後		2		1						
	自動車工学	4前		2								兼1
	航空宇宙工学	4前		2								兼2
	地学	1後			2							兼2
	地学実験	3前			2							兼1
	生物学概論	1後			2		1					
	生物学実験	3前			2	1	1					
	幾何学概論	3前			2	1						
	基礎数学演習第一	1前		1		1	1/2					より教育内容に即した担当者に変更。(28)
	基礎数学演習第二	1後		1			2					
基礎物理学演習第一	1前		1			1/2	1			専任教員の負担軽減のため、専任教員は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)		
基礎物理学演習第二	1後		1			2	1					
情報処理演習第一	2前			2			1					
情報処理演習第二	2後			2			1					

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 124	科目 325	科目 20	科目 469	科目 [0]	科目 [0]	科目 [3]	科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費 「該当なし」

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成28年4月 専任教授1名を新規 採用のため(28)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 -15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	電気通信大学							備考		
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定	容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人	人		倍			
情報理工学域										
I類(情報系)	4	210	3年次9	858	学士(工学)	1.05	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	一般入試(前期日程)では学域全体の大括り入試を採用しており、入学定員超過率は類別の状況を集計することができないため、I類、II類、III類をまとめ上げた状況を記載している。	
II類(融合系)	4	245	3年次10	1000	学士(工学)	1.05	平成28年度	同上		
III類(理工系)	4	235	3年次10	960	学士(工学)	1.05	平成28年度	同上		
先端工学基礎課程(夜間主)	4	30	3年次3	126	学士(工学)	1.03	平成28年度	同上		
情報理工学部										
総合情報学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	平成28年学生募集停止	
情報・通信工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止	
知能機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止	
先進理工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止	
先端工学基礎課程(夜間主)	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止	
情報理工学研究科(博士前期課程)										
情報学専攻	2	110	-	220	修士(工学)(理学)(学術)	1.25	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	平成28年学生募集停止	
情報・ネットワーク工学専攻	2	150	-	300	修士(工学)(理学)(学術)	1.14	平成28年度	同上		
機械知能システム学専攻	2	105	-	210	修士(工学)(理学)(学術)	0.98	平成28年度	同上		
基盤理工学専攻	2	135	-	270	修士(工学)(理学)(学術)	0.83	平成28年度	同上		
総合情報学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上		
情報・通信工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上		
知能機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上		
先進理工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上		

情報理工学研究科 (博士後期課程)												
情報学専攻	3	13	-	39	博士 (工学)(理学) (学術)	0.84	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号				
情報・ネットワーク工学専攻	3	18	-	54	博士 (工学)(理学) (学術)	0.61	平成28年度	同上				
機械知能システム学専攻	3	12	-	36	博士 (工学)(理学) (学術)	0.41	平成28年度	同上				
基盤理工学専攻	3	16	-	48	博士 (工学)(理学) (学術)	0.62	平成28年度	同上				
総合情報学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報・通信工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
知能機械工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
先進理工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム学研究科 (博士前期課程)												
情報メディアシステム学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号				平成28年学生募集停止
社会知能情報専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報ネットワークシステム学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム基盤学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム学研究科 (博士後期課程)												
情報メディアシステム学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号				平成28年学生募集停止
社会知能情報専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報ネットワークシステム学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム基盤学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

・ AC対象学部等についても必ず記入してください。

・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<情報理工学域 II類(融合系)>

(1) 担当教員表 「該当なし」

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)										平成26年3月 〇〇〇〇教授辞任のため 平成26年度より担当者の 変更(26) 平成26年11月 AC教員審査済(27)
専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成25年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆ (〇〇)	平成26年4月	国際経済学	
					兼任	講師	◇◇◇ (〇〇)	平成26年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●● (〇〇)	平成26年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成26年4月	商 法						……………のため、就任が遅延 (26)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成28年10月	金 融 論			後任未定			平成27年10月 □□□□准教授就任辞退(28) 「後任未定」平成28年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成28年4月	〇〇〇〇論	平成28年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
25	36	1	20	82	34	42	1	18	95	34	42	1	18	95
(34)	(42)	(1)	(18)	(95)						[9]	[6]	[0]	[Δ2]	[13]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (26)				
			選択	◆◆基礎	②					
			必修	☆☆演習	③					
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (27)				
			必修	▲▲実習	③					
			必修	◇◇特論	①					
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (26)				
			選択	◆◆基礎	②					
			必修	☆☆演習	③					
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (27)				
			必修	▲▲実習	③					
			必修	◇◇特論	①					
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 「該当なし」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等 「該当なし」

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)		〇〇意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<△△学部 □□学科>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む) 「該当なし」

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項 「該当なし」

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none">・平成28年5月1日 公表 <p>b 公表方法</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定） <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none">・平成28年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成28年 6月 30日)</p>

大学番号：031

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

電気通信大学 情報理工学域 Ⅲ類（理工系）

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 電気通信大学

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	係長 <small>ハンドウ</small> 飯銅 <small>ジュンジ</small> 純二
電話番号	042-443-5050
（夜間）	042-443-5050
F A X	042-443-5010
e-mail	kchosa-k@office.uec.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

情報理工学域

＜Ⅲ類（理工系）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

(2) 大学名

電気通信大学

(3) 大学の位置

〒182-8585

東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 「該当なし」

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
情報理工学域 Ⅲ類 (理工系) 学士 (工学)	4年	235人	3年次 10人	960人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	690 (-) [-]								1.05倍	一般入試 (前期日程) では学域全体の大括り入試を採用しており, 1年次は類別の状況を集計することができないため, I類、II類、III類をまとめ上げた状況を記載している。
志願者数	3986 (-) (-) [65] [-]									
受験者数	3007 (-) (-) [44] [-]									
合格者数	780 (-) (-) [13] [-]									
B 入学者数	729 (-) (-) [16] [-]									
入学定員超過率 B/A	1.05									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[16] (-) 729	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	一般入試（前期日程）では学域全体の大括り入試を採用しており、1年次は類別の状況を集計することができないため、Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類をまとめ上げた状況を記載している。	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		[] ()
4年次					/		[] ()	[] ()		[] ()
計			[16] (-) 729	[] ()			[] ()	[] ()		[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	729 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	729 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学者数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

※一般入試(前期日程)では学域全体の大括り入試を採用しており、1年次は類別の状況を集計することができないため、I類、II類、III類をまとめて上げた状況を記載している。

2 授業科目の概要

<情報理工学域 Ⅲ類（理工系）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合文化科目	人文・社会科学科目	哲学A	2・3前	2		1					
		哲学B	2・3後	2		1					
		倫理学A	2・3前	2		1					
		倫理学B	2・3後	2		1					
		心理学A	2・3前	2			1				
		心理学B	2・3後	2			1				
		歴史学A	2・3前	2							兼1
		歴史学B	2・3後	2							兼1
		科学史A	2・3前	2				1			
		科学史B	2・3後	2				1			
		文学A	2・3前	2			1				
		文学B	2・3後	2			1				
		美術A	2・3前	2							兼1
		美術B	2・3後	2							兼1
		音楽A	2・3前	2							兼1
		音楽B	2・3後	2							兼1
		経済学A	2・3前	2							兼1
		経済学B	2・3後	2							兼1
		社会学A	2・3前	2							兼1
		社会学B	2・3後	2							兼1
	法学A	2・3前	2							兼1	
	法学B	2・3後	2							兼1	
	政治学A	2・3前	2			1					
	政治学B	2・3後	2			1					
	地理学A	2・3前	2							兼1	
	地理学B	2・3後	2							兼1	
	社会思想史A	2・3前	2							兼1	
	社会思想史B	2・3後	2							兼1	
	文化人類学A	2・3前	2							兼1	
	文化人類学B	2・3後	2							兼1	
	技術史	2・3前	2				1				
	言語文化科目	言語文化基礎科目 I	Academic Written English I	1前	1		3	3			
Academic Spoken English I			1前	1		2	4				兼6
Academic Written English II			1後	1		3	3				兼7
Academic Spoken English II			1後	1		2	4				兼6
言語文化応用科目 I		Academic English for the Second Year I	2前	1		2	1				兼7
		Academic English for the Second Year II	2後	1		2	1				兼7
言語文化基礎科目 II		独語第一	1・2前	1							兼4
		独語第二	1・2後	1							兼4
		仏語第一	1・2前	1							兼1
		仏語第二	1・2後	1							兼1
		露語第一	1・2前	1		1					兼1
		露語第二	1・2後	1		1					兼1
	中国語第一	1・2前	1							兼4	
	中国語第二	1・2後	1							兼4	
韓国朝鮮語第一	1・2前	1							兼2 兼1		
韓国朝鮮語第二	1・2後	1							兼2 兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合文化科目	言語文化応用科目Ⅱ	選択独語第一	1~4前	1			1					兼2	
		選択独語第二	1~4後	1			1					兼2	
		選択仏語第一	1~4前	1								兼1	
		選択仏語第二	1~4後	1								兼1	
		選択露語第一	1~4前	1			1						
		選択露語第二	1~4後	1			1						
		選択中国語第一	1~4前	1			1					兼2	
		選択中国語第二	1~4後	1			1					兼2	
		選択韓国朝鮮語第一	1~4前	1								兼1	
	選択韓国朝鮮語第二	1~4後	1								兼1		
	言語文化科目	言語文化演習科目	英語演習	2前・後	2		4	4					
			独語演習	2前	2			1					兼1
			独語運用演習	2後	2			1					兼1
			仏語演習	2前	2								兼1
			仏語運用演習	2後	2								兼1
			露語演習	2前	2			1					
			露語運用演習	2後	2			1					
			中国語演習	2前	2			1					兼2
			中国語運用演習	2後	2			1					兼2
韓国朝鮮語演習			2前	2								兼1	
韓国朝鮮語運用演習	2後	2								兼1			
日本語演習	2後	2								兼1			
総合文化科目	日本語・日本文化科目	日本語	日本語第一	1前	2		2					兼1	
			日本語第二	1後	2		2						
			日本語第三	2前	2		1					兼2	
		日本文化	日本文化A	1前	2							兼1	
			日本文化B	1後	2							兼1	
	日本文化	日本文化C	2前	2							兼1		
		日本文化D	2後	2							兼1		
		日本文化E	2前	2			1						
		健康・スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1・2通	1			2 4	3				兼8
	健康論		1・2後	1			3 2	3 4				兼8	
	生涯スポーツ演習A		2・3・4前	1			1	3				兼9	
	生涯スポーツ演習B		2・3・4後	1			2					兼9	
	生涯スポーツ演習C		2・3・4前	1			1	2				兼2	
	生涯スポーツ演習D		2・3・4後	1			2	3				兼5	
	理工系教養科目		宇宙・地球科学	1・2後	2			1					
			物理学概論第三	2・3前	2			1					
			UECパスポートセミナー	1後	2			1			1		
			生物学	1・2・3後	2				2				
		化学とエネルギー	2・3前	2			1						
材料化学		1・2後	2			1							
現代数学入門A		2・3前	2				1						
現代数学入門B	2・3前	2				1							
総合文化科目	A類 文化と社会 上級科目	エートス論	3・4前	2		1							
		倫理思想論	3・4後	2		1							
		数学の哲学	3・4前	2		1							
		科学的实在論の可能性	3・4前	2		1							
		内包的文脈の諸相	3・4後	2		1							
		人間と外交	3・4前	2		1							
		日本の内政と外交	3・4前	2		1							
		現代の世界政治	3・4後	2		1							
		文章表現トレーニング	3・4前	2		1							
		王朝物語の精神史	3・4前	2		1							
		近代小説の人間学	3・4後	2		1							
		心の科学	3・4後	2				1					
		認知科学	3・4後	2				1					
		江戸の社会と数学	3・4前	2				1					
		伝統科学と近代科学の相克	3・4後	2				1					
		現代の教育	3・4前	2		1							
		教育と憲法（日本国憲法）	3・4前	2		1						兼1	
		教育の歴史	3・4後	2		1							
		人間と教育	3・4後	2		1							
		科学技術と人間	3・4前	2		1						兼3	
		環境論	3・4後	2		1						兼6	
認識の諸相	3・4後	2		3						兼3			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
B類 言語によるコミュニケーション	Reading Scientific Research	3・4前		2		1						
	Research Writing	3・4後		2		1						
	Research Presentation	3・4前		2		1						
	Advanced Reading in Academic English	3・4後		2			1					
	English for Interpersonal Communication	3・4後		2		1						
	English for Intercultural Communication	3・4前		2		1						
	Preparation for Overseas Study	3・4前		2		1						
	Preparation for Graduate School	3・4後		2		1						
	外国語とその運用A 【独語】	3・4前		2		2						兼1
	外国語とその運用A 【仏語】	3・4前		2		2						兼1
	外国語とその運用A 【露語】	3・4前		2		1						
	外国語とその運用A 【中国語】	3・4前		2		1						
	外国語とその運用A 【韓国朝鮮語】	3・4前		2		2						兼1
	外国語とその運用B 【独語】	3・4後		2		2						兼1
	外国語とその運用B 【仏語】	3・4後		2		2						兼1
外国語とその運用B 【露語】	3・4後		2		1							
外国語とその運用B 【中国語】	3・4後		2		1							
外国語とその運用B 【韓国朝鮮語】	3・4後		2		2						兼1	
C類 異文化の理解	比較文化論	3・4前		2			1					
	地域文化論	3・4後		2		1						
	文化干涉論	3・4前		2		1						
	国際文化論	3・4後		2								兼1
	文化と言語	3・4後		2			1					
	外国語との対比による日本語表現	3・4前		2								兼1
	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		2						
	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2			1					
D類 現代の科学	現代物理学を創った人々	3・4前		2		2	3					
	サイエンス・コミュニケーション演習	3前		2		1			1			
	物理学の発展と最前線	3・4後		2		2	3					
	応用代数学	3・4後		2			1					
	現代化学	3・4後		2		6	7		1			兼1
	情報と職業	3・4前		2								
	日本の科学と技術A	3・4前		2			1		1			
日本の科学と技術B	3・4後		2			2						
E類 健康とスポーツの科学	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2		1						
	運動と筋の科学	3・4前		2		1						
	健康の科学	3・4後		2			1					
	エイジングの健康科学	3・4前		2			1					
	スポーツとコミュニケーション	3・4後		2			1					
	体力の科学	3・4後		2			1					
	日常生活の対人関係	3・4前		2		1						
現代社会と対人関係	3・4後		2		1							
国際科目	Reading Scientific Research	3・4前		2		1						
	Research Presentation	3・4前		2		1						
	Preparation for Graduate School	3・4後		2		1						
	English for Interpersonal Communication	3・4後		2		1						
	Research Writing	3・4後		2		1						
	Preparation for Overseas Study	3・4前		2		1						
	Advanced Reading in Academic English	3・4後		2			1					
	English for Intercultural Communication	3・4前		2		1						
	UEC Academic Skills I (Computer Literacy)	1~4前・後		2			1					
	UEC Academic Skills II (Information Literacy and Research)	2~4前・後		2			1					
	UEC Academic Skills III (Publishing Literacy and Research)	3・4前・後		2			1					
Introduction to Computational Methods in Science and Engineering	3・4前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
実践教育科目	初年次導入科目	総合コミュニケーション科学	1前	2			1	1 2				より教育内容に即した担当者に変更。(28)
		基礎科学実験A	1前・後	2			6 7	9		11		兼9 専任教授の負担軽減のため、専任教授は6名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)
		基礎科学実験B	1前・後	2			4	2		2		兼8 兼9 教育内容充実のため、兼任教員は8名で対応。(28)
		コンピュータリテラシー	1前	2			4 5	2 3	1	5 3		より教育内容に即した担当者に変更。(28)
	倫理・キャリア教育科目	キャリア教育基礎	1前	2			0 1	2				専任教授の負担軽減のため、専任教授2名のみで対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)
		キャリア教育演習リーダー	3前	2			1	2				兼1
		キャリアデザイン	2後	2			1	2				兼8
		イノベティブ総合コミュニケーションデザイン1 エンジニアリングデザイン1	3前	2			2					兼7 科目の位置付け、講義内容をより反映した科目名に変更。(28)
		イノベティブ総合コミュニケーションデザイン2 エンジニアリングデザイン2	3後	2			2					兼7 科目の位置付け、講義内容をより反映した科目名に変更。(28)
		インターンシップ	3前	2			2	5	1			
		インターンシップ(海外)	3前	2			2	5	1			
		ベンチャービジネス概論	3・4前	2			2					
		知的財産権	3・4後	2			2					兼1
		技術者倫理	3・4後	2			2					兼1
実践教育科目	技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前	2				1				兼8
		Technical English - Intermediate English for Science	3後	2				1				兼8
専門科目	理数基礎科目	微分積分学第一	1前	2			2	4				兼3
		微分積分学第二	1後	2			1	4 6				兼2 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授は4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)
		線形代数学第一	1前	2			1	2				兼3 兼4 兼任教員の負担軽減のため、兼任教員は3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)
		線形代数学第二	1後	2			1	2				兼4
		解析学	1後	2			4 3	2 3				兼2 より教育内容に即した担当者に変更。(28)
		数学演習第一	1前	1				3				兼4
		数学演習第二	1後	1			1	2 3				兼4 より教育内容に即した担当者に変更。(28)
		物理学概論第一	1前	2			5 6	7 6				より教育内容に即した担当者に変更。(28)
		物理学概論第二	1後	2			6	6				
		化学概論第一	1前	2			4 6	4				兼2 専任教授の負担軽減のため、専任教授は4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)
		化学概論第二	1後	2				1				
		物理学演習第一	1前	1			2	3				
		物理学演習第二	1後	1			2	3				
		基礎プログラミングおよび演習	1後	2			5	4		3		
	①機械システムプログラム 類共通基礎科目	力学	1後	2			2	2				
		力学演習	1後	1			2	2				
		工学基礎数学および演習	2前	3			1	3				
		熱力学	2前	2			5					
		基礎電磁気学および演習	2前	3			5	3				
基礎電気回路		2前	2			1	3					
複素関数論		2前	2			1	1					
数値解析		2前	2			2						
確率統計		2前	2				1					
電磁気学および演習		2後	3			5	3					
基礎電子回路	2後	2			2	3						
プログラミング演習	2後	2				2						
計測工学概論	2前	2			2							
計算機工学	2後	2			2					兼1		
分子生物学	2後	2			2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
①機械システムプログラム 類専門科目 専門科目	材料力学および演習	2後	3			1	1				兼4
	メカノデザイン	2後	2			1	1		2		
	機械力学および演習	2後	3			2					
	知能機械工学基礎実験第一	3前	2				2		2		
	知能機械工学基礎実験第二	3後	2				2		2		
	マシンデザインA	3前	2								
	マシンデザインB	3後	2			1	1				
	設計基礎工学	3前	2				1				
	流体力学および演習	3後	3			1					
	熱力学応用	3前	2			1					
	輪講A	4前	1			8	5		3		
	輪講B	4後	1			8	5		3		
	卒業研究A	4前	3			8	5		3		
	卒業研究B	4後	3			8	5		3		
	機構要素設計	3前		2			1				
	生産システム工学	3後		2			1				
	加工学および演習	3前		3		1	1				
	基礎制御工学および演習	3前		3		2					
	材料工学	3後		2			1				
	メカトロニクス	3後		2		1	1				
	ロボットの機構と力学	3前		2		1					
	人間機械システム	3前		2			1				
	電気電子計測	3前		2		2					
	知能ロボット工学	3後		2		1					
	現代制御工学	3後		2			1				
	デジタル信号処理	3後		2		1					
	生体システム工学	3後		2		1					
	自動車工学	4前		2							
	航空宇宙工学	4前		2							
	地学	1後			2						
	地学実験	3前			2						
	生物学実験	3前			2	1	1				
	基礎数学演習第一	1前		1		1	1 2				
基礎数学演習第二	1後		1			2					
基礎物理学演習第一	1前		1			1 2	1				
基礎物理学演習第二	1後		1			2	1				
情報処理演習第一	2前		2				1				
情報処理演習第二	2後		2				1				
②電子工学プログラム 類共通基礎科目	力学	1後	2			2	2				兼1
	力学演習	1後	1			2	2				
	工学基礎数学および演習	2前	3			1	3				
	熱力学	2前	2			5					
	基礎電磁気学および演習	2前	3			5	3				
	基礎電気回路	2前	2			1	3				
	電磁気学および演習	2後	3			5	3				
	基礎電子回路	2後	2			3					
	複素関数論	2前		2		1	1				
	確率統計	2前		2			1				
	計測工学概論	2前		2			2				
	数値解析	2前		2		2					
	プログラミング演習	2後		2			2				
	計算機工学	2後		2							
	分子生物学	2後		2			2				
	理工学基礎実験	2後		2		2	1		4		
波動と光	2後		2		2	1					

より教育内容に即した担当者に変更。(28)

専任准教授の負担軽減のため、専任准教授は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
② 電子工学プログラム 類専門科目	電子工学実験第一	3前	3				6		5	
	電子工学実験第二	3後	3			1	2		3	
	電気回路	3前	2				1			
	電気回路演習	3前	1				2			
	固体電子論	3前	2			2				
	論理回路学	3前	2				1			
	半導体工学	3後	2				1			
	電子回路学	3後	2			1	1			
	電子デバイス	3後	2			1				
	輪講A	4前	1			8	1		6	
	輪講B	4後	1			8	1		6	
	卒業研究A	4前	3			8	1		6	
	卒業研究B	4後	3			8	1		6	
	量子力学第一	3前		2		1				
	量子力学第一演習	3前		1			1		1	
	熱・統計物理学基礎	3後		2		1				
	熱・統計物理学応用	3後		2		1	1			
	光電子材料学	3後		2		2				
	計算数理工学	3後		2		1				
	量子エレクトロニクス	3後		2		1	1			
	回折結晶学	3後		2		1				
	線形システム理論	3後		2				1		
	画像工学	3後		2				1		
	デジタル信号処理	3後		2		1				
	電磁波工学	4前		2		1				
	環境工学	4前		2		1				
	基礎物理化学	2後		2		1	1			
	無機化学	2後		2		1				
	地学	1後			2					兼2
	地学実験	3前			2					兼1
	生物学実験	3前			2	1	1			
	UECパスポートプログラムA	2通			2	1			1	
	UECパスポートプログラムB	3通			2	1			1	
	UECパスポートプログラムC	3・4前			2	1			1	
基礎数学演習第一	1前		1		1	1	2			
基礎数学演習第二	1後		1			2				
基礎物理学演習第一	1前		1			1	2	1		
基礎物理学演習第二	1後		1			2	1			
情報処理演習第一	2前		2				1			
情報処理演習第二	2後		2				1			
③ 光工学プログラム 類共通基礎科目	力学	1後	2			2	2			
	力学演習	1後	1			2	2			
	工学基礎数学および演習	2前	3			1	3			
	熱力学	2前	2			5				
	基礎電磁気学および演習	2前	3			5	3			
	基礎電気回路	2前	2			1	3			
	電磁気学および演習	2後	3			5	3			
	基礎電子回路	2後	2			3				
	複素関数論	2前		2		1	1			
	確率統計	2前		2			1			
	計測工学概論	2前		2			2			
	数値解析	2前		2		2				
	プログラミング演習	2後		2			2			
	計算機工学	2後		2						兼1
	分子生物学	2後		2			2			
理工学基礎実験	2後		2		2	1		4		
波動と光	2後		2		2	1				
光工学実験第一	3前		3			6		5		

より教育内容に即した担当者に変更。(28)

専任准教授の負担軽減のため、専任准教授は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
③ 光工学プログラム 専門科目	光工学実験第二	3後	3			2	5						
	固体電子論	3前	2			2							
	光電子材料学	3後	2			2							
	基礎量子工学	3前	2			1							
	量子エレクトロニクス	3後	2			1	1						
	光波工学	3後	2			1							
	画像工学	3後	2				1						
	電磁波工学	3前	2			1							
	光通信工学	3後	2			1							
	輪講A	4前	1			7	9		3				
	輪講B	4後	1			7	9		3				
	卒業研究A	4前	3			7	9		3				
	卒業研究B	4後	3			7	9		3				
	熱・統計物理学基礎	3後		2		1							
	熱・統計物理学応用	3後		2		1	1						
	生体計測工学	3前		2			1						
	半導体工学	3後		2			1						
	電子回路学	3後		2		1	1						
	計算数理工学	3後		2		1							
	デジタル信号処理	3後		2		1							
	高分子有機化学	3後		2		1							
	基礎物理化学	2後		2		1	1						
	無機化学	2後		2		1							
	地学	1後			2							兼2	
	地学実験	3前			2							兼1	
	生物学実験	3前		2	1	1							
	UECパスポートプログラムA	2通		2	1	1			1				
	UECパスポートプログラムB	3通		2	1	1			1				
	UECパスポートプログラムC	3・4前		2	1	1			1				
	基礎数学演習第一	1前		1		1	1/2					より教育内容に即した担当者に変更。(28)	
基礎数学演習第二	1後		1			2							
基礎物理学演習第一	1前		1			1/2	1				専任准教授の負担軽減のため、専任准教授は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)		
基礎物理学演習第二	1後		1			2	1						
情報処理演習第一	2前		2					1					
情報処理演習第二	2後		2					1					
④ 物理工学プログラム 専門科目	力学	1後	2			2	2						
	力学演習	1後	1			2	2						
	工学基礎数学および演習	2前	3			1	3						
	熱力学	2前	2			5							
	基礎電磁気学および演習	2前	3			5	3						
	基礎電気回路	2前	2			1	3						
	電磁気学および演習	2後	3			5	3						
	基礎電子回路	2後	2			3							
	プログラミング演習	2後	2				2						
	複素関数論	2前		2		1	1						
	確率統計	2前		2			1						
	計測工学概論	2前		2			2						
	数値解析	2前		2		2							
	計算機工学	2後		2								兼1	
	分子生物学	2後		2			2						
	類専門科目	理工学基礎実験	2後	2			2	1		4			
		波動と光	2後	2			2	1					
理工学実験第一		3前	3				6		5				
理工学実験第二		3後	3				4		1				
解析力学		3前	2				1						
量子力学第一		3前	2			1							
量子力学第一演習		3前	1				1		1				
熱・統計物理学基礎	3後	2			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
④ 物理工学プログラム 類専門科目	熱・統計物理学応用	3後	2			1	1					
	固体物理学第一	3前	2				1					
	固体物理学第二	3後	2				1					
	輪講A	4前	1			9	12		4			
	輪講B	4後	1			9	12		4			
	卒業研究A	4前	3			9	12		4			
	卒業研究B	4後	3			9	12		4			
	量子力学第二	3後		2		1						
	量子力学第二演習	3後		1			1					
	量子エレクトロニクス	3後		2		1	1					
	回折結晶学	3後		2		1						
	基礎物理化学	2後		2		1	1					
	無機化学	2後		2		1						
	固体電子論	3前		2		2						
	半導体工学	3後		2			1					
	電子回路学	3後		2		1	1					
	計算数理工学	3後		2		1						
	電子デバイス	3後		2		1						
	地学	1後			2						兼2	
	地学実験	3前			2						兼1	
	生物学実験	3前			2	1	1					
	UECパスポートプログラムA	2通			2	1			1			
	UECパスポートプログラムB	3通			2	1			1			
	UECパスポートプログラムC	3・4前			2	1			1			
	基礎数学演習第一	1前		1		1	1/2				より教育内容に即した担当者に変更。(28)	
	基礎数学演習第二	1後		1			2					
	基礎物理学演習第一	1前		1			1/2	1			専任教員の負担軽減のため、専任教員は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)	
基礎物理学演習第二	1後		1			2	1					
情報処理演習第一	2前		2				1					
情報処理演習第二	2後		2				1					
⑤ 化学生命工学プログラム 類共通基礎科目	力学	1後	2			2	2					
	力学演習	1後	1			2	2					
	工学基礎数学および演習	2前	3			1	3					
	熱力学	2前	2			5	5					
	基礎電磁気学および演習	2前	3			5	3					
	基礎電気回路	2前	2			1	3					
	分子生物学	2後	2				2					
	複素関数論	2前		2		1	1					
	確率統計	2前		2		2	2					
	計測工学概論	2前		2		2	2					
	数値解析	2前		2		2	2					
	電磁気学および演習	2後		3		5	3					
	基礎電子回路	2後		2		3						
	プログラミング演習	2後		2			2					
	計算機工学	2後		2							兼1	
	類専門科目	基礎物理化学	2後	2			1	1				
		無機化学	2後	2			1					
理工学基礎実験		2後	2			2	1		4			
化学生命工学実験第一		3前	3			1	1		2			
化学生命工学実験第二		3後	3			3	6		1			
化学生命工学演習第一		3前	1			1	1					
化学生命工学演習第二		3後	1			2	1					
物理化学第一		3前	2			2	2					
有機化学第一		3前	2			1	1					
生物化学		3前	2			1	1					
細胞生物学		3前	2				1					
神経科学		3後	2				1					
輪講A		4前	1			7	8		3			
輪講B	4後	1			7	8		3				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
⑤ 化学 生命工学プログラム 類専門科目	卒業研究A	4前	3			7	8		3		
	卒業研究B	4後	3			7	8		3		
	波動と光	2後		2		2	1				
	機器分析学	3前		2		1	2				
	生体計測工学	3前		2			1				
	物理化学第二	3後		2		1					
	有機化学第二	3後		2		1					
	高分子有機化学	3後		2		1					
	システム生物学	3後		2		1	1				
	画像工学	3後		2			1				
	生体システム工学	3後		2		1					
	環境工学	4前		2		1					
	地学	1後			2					兼2	
	地学実験	3前			2					兼1	
	生物学実験	3前			2	1	1				
	UECパスポートプログラムA	2通			2	1			1		
	UECパスポートプログラムB	3通			2	1			1		
	UECパスポートプログラムC	3・4前			2	1			1		
	基礎数学演習第一	1前		1		1	1 2				より教育内容に即した担当者に変更。(28)
	基礎数学演習第二	1後		1			2				
基礎物理学演習第一	1前		1			1 2	1			専任教員の負担軽減のため、専任教員は1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(28)	
基礎物理学演習第二	1後		1			2	1				
情報処理演習第一	2前			2				1			
情報処理演習第二	2後			2				1			

- (注)
- ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 142	科目 297	科目 27	科目 466	科目 142 [0]	科目 297 [0]	科目 27 [0]	科目 466 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費 「該当なし」

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成28年4月 専任教授1名を新規 採用のため(28)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 -15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	電気通信大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
情報理工学域									
I類(情報系)	4	210	3年次9	858	学士(工学)	1.05	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	一般入試(前期日程)では学域全体の大括り入試を採用しており、入学定員超過率は類別の状況を集計することができないため、I類、II類、III類をまとめ上げた状況を記載している。
II類(融合系)	4	245	3年次10	1000	学士(工学)	1.05	平成28年度	同上	
III類(理工系)	4	235	3年次10	960	学士(工学)	1.05	平成28年度	同上	
先端工学基礎課程(夜間主)	4	30	3年次3	126	学士(工学)	1.03	平成28年度	同上	
情報理工学部									
総合情報学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	平成28年学生募集停止
情報・通信工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先端工学基礎課程(夜間主)	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報理工学研究科(博士前期課程)									
情報学専攻	2	110	-	220	修士(工学)(理学)(学術)	1.25	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	
情報・ネットワーク工学専攻	2	150	-	300	修士(工学)(理学)(学術)	1.14	平成28年度	同上	
機械知能システム学専攻	2	105	-	210	修士(工学)(理学)(学術)	0.98	平成28年度	同上	
基盤理工学専攻	2	135	-	270	修士(工学)(理学)(学術)	0.83	平成28年度	同上	
総合情報学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報・通信工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止

情報理工学研究科 (博士後期課程)												
情報学専攻	3	13	-	39	博士 (工学)(理学) (学術)	0.84	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号				
情報・ネットワーク工学専攻	3	18	-	54	博士 (工学)(理学) (学術)	0.61	平成28年度	同上				
機械知能システム学専攻	3	12	-	36	博士 (工学)(理学) (学術)	0.41	平成28年度	同上				
基盤理工学専攻	3	16	-	48	博士 (工学)(理学) (学術)	0.62	平成28年度	同上				
総合情報学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報・通信工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
知能機械工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
先進理工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学) (学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム学研究科 (博士前期課程)												
情報メディアシステム学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号				平成28年学生募集停止
社会知能情報専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報ネットワークシステム学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム基盤学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム学研究科 (博士後期課程)												
情報メディアシステム学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号				平成28年学生募集停止
社会知能情報専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報ネットワークシステム学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止
情報システム基盤学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集停止

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

・ AC対象学部等についても必ず記入してください。

・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<情報理工学域 Ⅲ類（理工系）>

(1) 担当教員表 「該当なし」

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)										平成26年3月 〇〇〇教授辞任のため 平成26年度より担当者の 変更(26) 平成26年11月 AC教員審査済(27)
専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成25年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆◆ (〇〇)	平成26年4月	国際経済学	
					兼任	講師	◇◇◇◇ (〇〇)	平成26年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成26年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成26年4月	商 法						……………のため、就任が遅延 (26)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成28年10月	金 融 論			後任未定			平成27年10月 □□□□准教授就任辞退(28) 「後任未定」平成28年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成28年4月	〇〇〇〇論	平成28年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
31	35	0	16	82	36	39	0	15	90	36	39	0	15	90
(36)	(39)	0	(15)	(90)						[5]	[4]	[0]	[Δ1]	[8]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (26)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (27)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (26)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (27)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)		
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 「該当なし」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等 「該当なし」

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<△△学部 □□学科>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む) 「該当なし」

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項 「該当なし」

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none">・平成28年5月1日 公表 <p>b 公表方法</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定） <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none">・平成28年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成28年 6月 30日)</p>
